

在京飯田高校同窓会定時総会報告

令和3年11月13日13時から、オンラインにて開催された在京飯田高校同窓会定時総会を振り返る。

令和3年度の定時総会の幹事学年は高36回生・高46回生で、1年前から準備を進めてきました。定時総会当日は、アルカディア市ヶ谷をオンライン放映のスタジオとして運営しました。昨年の在京飯田高校同窓会は、講演会のみをオンライン開催ましたが、今年は講演会に加えて付議議案4件の審議もオンラインで実施しました。アルカディア市ヶ谷のスタジオには高36回生中心に20名ほどが集まり、100名を超える同窓生がオンラインで参加しました。

定時総会は、矢澤和敏さん（高36回）、加藤淳子さん（高36回）のウイットに富んだ司会が始まり、この1年にご逝去された同窓生への黙祷の後、松原秀幸在京飯田高校同窓会長が「今年度は組織の目的と役割の見える化を行った。来年度は新しい組織・会則に基づき活動を活性化していきたい」と挨拶されました。

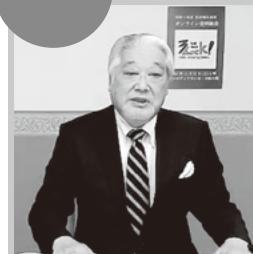
続いて総会議長として下枝博之さん（高36回）が選

講演会



宮澤正顯氏（高27回）

会長挨拶

松原秀幸 在京同窓会会長
(高19回)オープニング
画面

開始までの画面は、花園出場を決めたラグビー班の県大会決勝の写真。

総合司会



進行は、矢澤和敏さんと加藤淳子さん

総会議案
審議議長の下枝博之さん（左）、
代田秀雄 在京同窓会事務局長（高33回・右）

出され、議案の審議が行われました。審議の結果、第1号議案 令和2年度の事業および会計の報告の件、第2号議案 令和3年度の事業計画および予算案の件、第3号議案 在京飯田高校同窓会会則の改定の件、第4号議案 役員改選の件の4つの議案すべてについて、事前の書面決議の結果も含め満場一致で可決されました。

休憩のあと、13時半から大嶋みどりさん（高36回）、柳澤昭浩さん（高36回）の進行により、講演会が行われました。はじめに近畿大学医学部の宮澤正顕さん（高27回）が「新型コロナウイルスの本態とワクチン」というタイトルで、人が持つ免疫反応とワクチンのメカニズムや正しい新型コロナウイルス対策について講演されました。続いて元横浜検疫所所長の北澤潤さん（高36回）が「新型コロナX 検疫の現在・過去・未来」と題して、世界での新型コロナウイルス感染症の状況や検疫体制とダイヤモンドプリンセス号での経験、そしてコロナ禍での子どもたちへのこころの支援について講演されました。講演会の最後は、「私たちのこれから世界は」をテーマにQ&Aディスカッションに移り、講演者の宮澤さんと北澤さんに加え、飯田市教育長の代田昭久さん（高36回）が加わり、新型コロナウイルス感染に対する誤解と偏見をなくすために、科学リテラシーの必要性や教育のあり

方についてディスカッションが行されました。

講演会の後、今年度の学年幹事長の高36回下沢聰夫さんから、来年度の学年幹事長の高37回市瀬誠一さんに幹事学年の引継ぎが行われ、校歌斉唱の後、オンラインでの写真撮影を行い、お開きになりました。

高36回生、高46回生による万全な準備のおかげで、トラブル等のない順調なオンライン総会となりました。
(報告：在京飯田高校同窓会事務局長代田秀雄・高33回)



令和3年度総会幹事長の下沢聰夫さん（左）、令和4年度総会幹事長の市瀬誠一さん（高37回・右）



ラストは、参加者も顔出しての記念撮影